

令和5年度学校評価報告書

令和6年3月19日

北海道教育委員会教育長 様

北海道当別高等学校長
保 格 秀 規 

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

生徒が楽しく学ぶ当別高校

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	授業評価等の活用により生徒個々の学習意欲を喚起する授業改善については継続して取り組む。 育成すべき資質・能力の定着を図る観点別評価の確立については次年度検証を行う。	4段階で3.0という評価である。生徒の学習意欲を高め、わかりやすい授業・個別最適な学びの確立に向けて、焦点化した研修の実施、具体策を通して、基礎学力を定着させて欲しい。
改善方策	○学校教育目標や生徒に身につけさせたい資質・能力を意識した授業改善の推進、観点別評価の精度を高める工夫・改善 ○ICTを活用した家庭学習方法の確立、各教科の「見方・考え方」の定着 ○授業改善に関する各種研修会への積極的な参加及び互見授業（個別最適な学び、わかりやすい授業、特別支援教育の充実）の推進	
生徒指導関係	不登校・退学者の減少に向けた取組は成果が見られた。いじめや非行事故の未然防止、スクールカウンセラー等の活用による生徒理解、生徒に寄り添った指導がより一層求められている。	挨拶の励行、身だしなみ、いじめ等の未然防止について概ね良いと判断している。保護者やその他の機関と一層連携して、生徒の安心・安全を図って欲しい。
改善方策	○いじめ対策組織、生徒支援委員会の有効活用による未然防止策の実施 ○外部機関等との連携、生徒に寄り添った生徒支援の推進 ○ボランティア活動や生徒会活動等を通じて、生徒の社会性を育成する教育の推進	
進路指導関係	地域の教育資源を活用したキャリア教育は概ね十分と判断している。 生徒個々の目標に沿った進路指導に向けた取組を一層進めていく。	希望進路の実現がなされ、今後も継続させて欲しい。大学進学等上級学校への指導について強化して欲しい。
改善方策	○地域連携を深化したインターンシップ実施方法の工夫・改善 ○進路講演会、三者面談等のきめ細かい情報提供・進路指導の継続的な実施 ○生徒個々の進路実現に向けた取組を日常的に育成する工夫・改善	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
健康・安全 指導	生徒の健康状態の情報共有は概ね十分と判断できる反面、環境美化意識、防災意識の涵養については工夫・改善が必要である。 一層の教育相談体制の充実、安全、防災、健康への自己管理能力の育成が求められる。	環境美化意識、生徒の健康・安全意識の高揚については概ね十分と判断している。 生徒の自主性の育成を目指した教育活動の工夫・改善が求められる。
改善方策	○生徒の健康管理に向けた自己管理能力の育成 ○生徒に寄り添った教育相談体制の充実 ○防災・防犯訓練の実施による生徒の安全意識の向上	
信頼される 学校づくり (地域連携)	ホームページ・報道等による情報発信を行っているが、より一層タイムリーな情報更新やホームページの刷新に努める必要がある。 P T A活動については会員の協力を得ることができたが、地域連携については引き続き関係機関や団体との連携に努めていく。	ホームページ・報道等による情報発信について効果的な発信方法等について工夫・改善が必要である。 町内の関係機関や団体との連携を深化させ、さらなる充実を図る必要がある。
改善方策	○H P へのタイムリーな掲載や町の広報等と連携した学校P R の推進 ○日常的に情報交換等ができる関係づくりを推進する等の町内の小中学校との連携強化 ○学校運営協議会やコンソーシアムの有効活用	
組織運営	日常的な報告・連絡・相談の徹底については更なる深化が必用である。 学校課題の解決に向けた取組は、今後も全体で共有した工夫・改善をが求められる。	学校は保護者・地域の願いや期待に概ね応えた教育活動を行っているが、地域連携を深化させた魅力ある学校づくりのため不断の努力が求められている。
改善方策	○学校課題の共有と組織的な改善方策の推進 ○重複や非効率を改善するため、各業務の目的と実施内容の点検を不断に推進 ○業務の平準化に向けた働き方改革、職員のメンタルヘルスの推進	
公表方法	学校ホームページ、学校運営協議会、P T A 役員会、保護者懇談会等にて公表・説明	

3 添付資料

- (1) 令和5年度学校評価（教職員）結果
- (2) 令和5年度学校評価（保護者）結果
- (3) 令和5年度学校評価（生徒）結果
- (4) 令和5年度学校評価（学校関係者）結果